

■案内図



邑智郡町村総合事務組合

〒696 島根県邑智郡川本町川本332-15
 悠邑ふるさと会館内
 電話 0855-72-2777
 FAX 0855-72-2772

志谷苑

〒696 島根県邑智郡川本町大字因原701-1
 電話 0855-72-0059
 FAX 0855-72-0173

設計・施工



本社	環境装置部 環境装置一課	東京都千代田区丸の内2-5-1 〒100 ☎東京(03)3212-9548	中国支社	機械一課	広島市中区大手町2-11-10(NHK広島放送センタービル)〒730 ☎広島(082)248-5126
関西支社	環境装置一課	大阪市北区中之島2-2-2(ニチメンビル) 〒530 ☎大阪(06)201-2412	東北支社	環境装置課	仙台市青葉区一番町1-8-1(東菱ビル) 〒980 ☎仙台(022)264-1822
中部支社	環境装置課	名古屋市中村区名駅3-28-12(大名古屋ビル) 〒450 ☎名古屋(052)562-2150	北陸支社	金沢営業所	金沢市高岡町1-33(明治生命ビル) 〒920 ☎金沢(0762)31-6339
九州支社	プラント環境装置課	福岡市博多区博多駅前2-2-1(福岡センタービル) 〒812 ☎福岡(092)441-3748	四国支社	社会開発グループ	高松市観光通2-2-15(第2ダイヤビル4階) 〒760 ☎高松(0878)34-5706
北海道支社	環境装置課	札幌市中央区北2条西4-1(北海道ビル) 〒060 ☎札幌(011)261-1545	横浜製作所	環境装置営業部 営業二課	横浜市金沢区幸浦1-8-1 〒236 ☎横浜(045)772-7202

志谷苑



邑智郡町村総合事務組合

■ごあいさつ



このたび、邑智郡町村総合事務組合が施工しておりました、し尿処理施設「志谷苑」が完成いたしましたことを、郡民の皆様とともに、お慶び申し上げます。

住み良い地域社会、清潔で快適な生活環境の整備は、行政に課せられた責務であり、最も重要な施策のひとつであります。

既存の施設は、昭和52年に建設されており、近年になり処理能力が限界に達するとともに老朽化が著しく、したがって新しいし尿処理施設の建設を計画したものであります。

新施設は、三菱重工業株式会社の卓越した技術力を駆使し、公害対策にも万全を期していることに加え、外観上も従来のし尿処理場のイメージを一新した近代的な施設であります。

本施設建設にあたり、ご理解とご協力をいただいた地元の皆様や国、県ご当局、関係各位に対して、心からお礼を申し上げます。

今後とも、施設の運営管理に最善の努力を払い、郡民の皆様の期待にこたえとともに、生活環境の向上に一層貢献いたしたいと思っております。

皆様方の一層のご指導とご協力をお願い申し上げます。

平成9年3月

邑智郡町村総合事務組合

管理者（川本町長）小田 泰 敬



■施設概要

所在地：〒696 島根県邑智郡川本町大字因原701-1

処理能力：43kℓ/日（し尿24kℓ/日、浄化槽汚泥19kℓ/日）

処理方式：膜分離高負荷脱窒素処理方式+高度処理

敷地面積：約5,254㎡

建築構造：鉄筋コンクリート造、地下1階・地上2階

受入貯留設備：細目スクリーン+スクリュープレス+繊維除去装置

膜分離高負荷

脱窒素処理設備：RU式し尿膜分離高負荷処理方式

高度処理設備：凝集膜分離+活性炭吸着処理

汚泥処理設備：脱水+焼却

脱臭設備：高濃度臭気=燃焼脱臭

中濃度臭気=薬液洗浄+活性炭吸着

低濃度臭気=活性炭吸着

工期：平成7年7月～平成9年3月

施工監理：東和科学株式会社

設計施工：三菱重工業株式会社

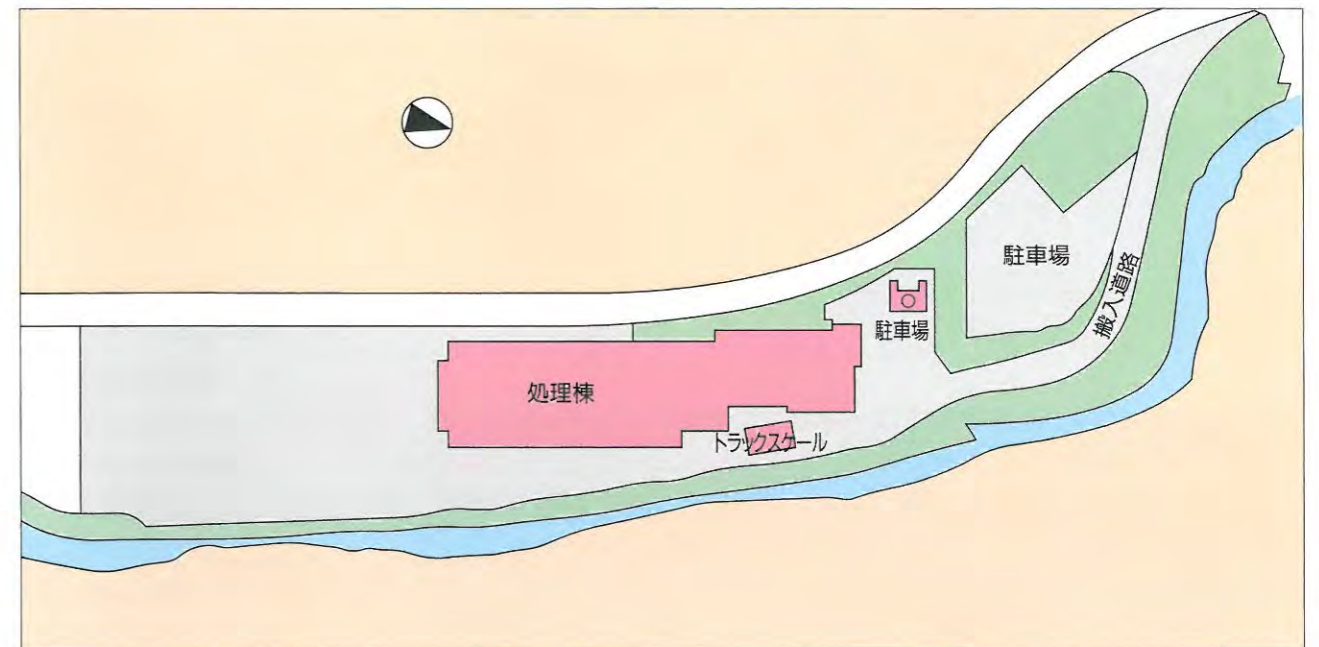
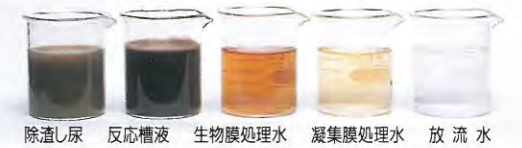


ロータリアトマイザ

放流水質及び関係法規制値

基準項目	放流水質	廃棄物の処理及び清掃に関する法律
PH	5.8~8.6	5.8~8.6
BOD	10mg/ℓ以下	20mg/ℓ以下
SS	5mg/ℓ以下	70mg/ℓ以下
COD	20mg/ℓ以下	規制なし
T-N	10mg/ℓ以下	規制なし
T-P	1mg/ℓ以下	規制なし
色度	20度以下	規制なし
大腸菌群数	100個/cm以下	3,000個/cm以下

処理水の変化



三菱RULシステム(膜分離高負荷脱窒素処理方式)

受入貯留設備

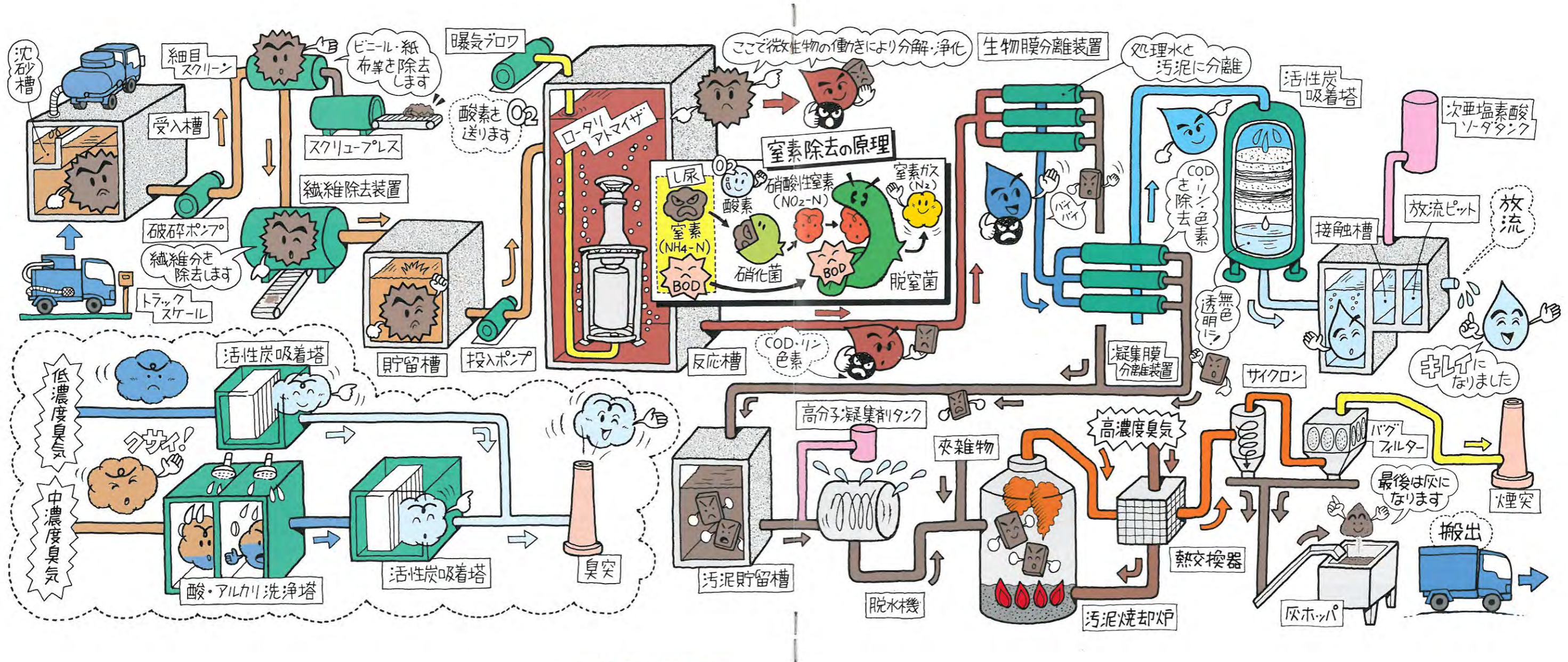
収集されたし尿や浄化槽汚泥をトラックスケールで計量した後、投入します。次に沈砂槽で砂・金属類を除いた後、受入槽へ送り、破碎後、細目スクリーンと繊維除去装置で、夾雑物を除去して貯留槽へ送ります。夾雑物はスクリュープレスで加圧脱水後、汚泥焼却炉へ送ります。

膜分離高負荷脱窒素処理設備

し尿は一定量ずつ反応槽へ送られ、ロータリアトマイザ(高性能曝気装置)により空気中の酸素が供給されます。し尿に含まれる汚濁物(BOD、窒素等)は、この酸素で微生物(硝化菌や脱窒菌)の働きにより効率よく分解・浄化されます。次に、生物膜分離装置で処理水と汚泥とに分離し、浮遊物の全くない清澄な処理水が得られます。

高度処理設備・消毒設備

凝集膜分離装置により、溶解性の汚濁物(COD、リン、色度等)を除去し、さらに、活性炭吸着塔にて仕上げの処理を行います。吸着処理水は消毒後、放流します。



脱臭設備

高濃度臭気は、汚泥焼却炉にて、燃焼脱臭により処理します。又、中濃度臭気は、酸・アルカリ洗浄を行った後、活性炭吸着塔で吸着処理を行い、大気放出します。低濃度臭気は、活性炭吸着塔で、吸着処理を行った後、大気放出します。

■施設の特長

1. 無希釈処理
 - ・高性能曝気装置(ロータリアトマイザ)の採用による無希釈処理
2. 確実な固液分離
 - ・膜分離装置により固形分の流出を阻止
3. 万全な臭気対策
 - ・機能的な臭気の捕集と効率良い脱臭システムの装備
4. 中央集中監視システム
 - ・中央監視室を中核とした運転管理とデータ処理装置の完備

汚泥処理設備

膜分離装置より引き抜いた余剰汚泥と凝集汚泥を、汚泥脱水機で脱水した後、し渣と共に汚泥焼却炉で焼却します。排ガスはサイクロンやバグフィルターにより処理された後、大気放出します。

■施設の案内



トラックスケール



受入室



反応槽上部



膜分離装置



ポンプ室



中央監視室



活性炭吸着塔



汚泥脱水機



汚泥焼却炉



脱臭装置



試験室